

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習Ⅱ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	合田 千佳(実務経験あり)

授業の概要

・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う

【実務経験】合田 千佳

- ・ユーザ教育・社内教育担当として2年の実務経験
これまでのユーザ向けや社内向け講座の企画立案から準備・実施・フォローの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する
- ・専門学校講師として21年の実務経験
これまでの様々なIT資格やビジネス資格取得教育担当や職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育担当経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する
- ・営業事務として2年の実務経験
これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

授業終了時の到達目標

- ・Excel表計算処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格
- ・Excelを用いて簡単な集計表やデータベース、グラフを作成することができる

回	テーマ	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作 1. Excelの基本 2. データの編集 7. 関数 	<ul style="list-style-type: none"> ※授業の目的と評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Excelの起動・終了、Excelの画面構成 データの入力、データの移動とコピー、数式の入力、ブックの保存 統計関数(SUM関数・AVERAGE関数・MAX関数・MIN関数)
2	<ul style="list-style-type: none"> 2. データの編集 3. 表の編集 	<ul style="list-style-type: none"> 絶対参照と相対参照、オートフィル 罫線、セルの書式設定、セルの配置、表示形式の設定、列幅や行の高さの調整、行や列の挿入と削除
3	<ul style="list-style-type: none"> Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題1と問題2部分の答練 7. 関数 6. ブックの利用と管理 	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する 統計関数(COUNT関数・COUNTA関数) 数学/三角関数(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数) ワークシートの管理(シート名の変更)
4	<ul style="list-style-type: none"> 7. 関数 6. ブックの利用と管理 5. グラフと図形の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 統計関数(RANK.EQ関数・RANK.AVG関数) 論理関数(IF関数・OR関数・AND関数) 日付関数(TODAY関数) ワークシートの管理、ウィンドウの操作 グラフの作成、グラフの編集、図形の作成
5	<ul style="list-style-type: none"> Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題4部分の答練 8. データベース機能 	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する リストの作成、並べ替え、データの抽出、テーブル機能

回	テーマ	内容		
6	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題3、5部分の答練 4. ブックの印刷	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する ページ設定の変更、印刷の実行、印刷範囲の指定		
7	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
8	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級サーティファイHPからダウンロードしたサンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2016クイックマスター基本編(ウィネット) Excel表計算処理技能認定医試験3級問題集(サーティファイ)		検定結果 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵(実務経験あり)
授業の概要				
<p>ビジネス文書検定3級取得を目標 併せて社会人として必要なマナーについて学ぶ</p> <p>【実務経験】三村 梨恵：一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして12年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、 学生が実践しやすいような授業をする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>ビジネス文書検定3級合格 社会人として必要なマナーを身につける</p>				
回	テーマ	内 容		
1	授業説明	検定の説明・申込書記入		
2	I 表記技能			
3	I 表記技能			
4	I 表記技能			
5	I 表記技能			
6	I 表記技能			
7	I 表記技能	過去問題		
8	I 表記技能	過去問題		
9	II 表現技能			
10	II 表現技能			
11	II 表現技能			
12	II 表現技能			
13	II 表現技能			
14	II 表現技能	過去問題		
15	II 表現技能	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定 3級 受験ガイド		期末試験 授業態度 出席率 課題・レポート	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅳ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵(実務経験あり)

授業の概要

就職した際に必要な文書の知識を身につける

【実務経験】三村 梨恵：一般企業で接客業（ショールームアドバイザー）として1年
 トリマーとして12年の実務経験
 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、
 学生が実践しやすいような授業をする。

授業終了時の到達目標

ビジネス文書検定3級合格

回	テーマ	内容
1	Ⅲ実務技能	
2	Ⅲ実務技能	
3	Ⅲ実務技能	
4	Ⅲ実務技能	
5	Ⅲ実務技能	
6	Ⅲ実務技能	過去問題
7	Ⅲ実務技能	過去問題
8	過去問題	
9	過去問題	
10	過去問題	
11	過去問題	
12	過去問題	
13	過去問題	
14	過去問題	
15	過去問題	

回	テ ー マ	内 容		
16	確認テスト			
17	確認テスト解説 過去問題			
18	過去問題			
19	過去問題			
20	過去問題			
21	検定解説			
22	マナー			
23	マナー			
24	マナー			
25	マナー			
26	マナー			
27	マナー			
28	マナー			
29	マナー			
30	マナー			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド3級		期末試験 授業態度 出席率 課題・レポート	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物繁殖学		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
講義 実務経験 トリマー、ブリーダー歴26年の経験を生かして繁殖の心得と大事さを教える				
授業終了時の到達目標				
繁殖に関するモラルとノウハウを身につけ またペット業界の現状を知るため				
回	テーマ	内容		
1	繁殖とはなにか	ブリーダーとしての心構えを身につける		
2	血統書の作り方	血統書の価値をよく知ること		
3~4	繁殖の方程式を理解する	計画繁殖をするために		
5~6	交配に関して	交配の時期や交配の仕方について		
7~8	出産までの流れ	交配から出産直前までの流れを説明		
9~10	出産に関して	出産の立ち会い方		
11~12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の管理方法の説明		
13~14	離乳期の飼い方	離乳食の与え方		
15	子犬の譲渡の仕方	子犬を人に譲渡するときの注意事項		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
スライドを使用し説明する。		期末試験	100.0%	事前学習 前回の授業の内容を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASICⅢ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	吉本, 山地, 森, 三村, 竹川 (実務経験あり)
授業の概要				
グルーミングの基礎からさらにスピードをアップさせる				
<p>【実務経験】</p> <p>吉本真紀 トリマーとして26年 森 純子 トリマーとして13年 三村梨恵 トリマーとして12年 竹川陽貴 トリマーとして11年 山地香里 トリマーとして2年</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし 学生のロールモデルとなる</p>				
授業終了時の到達目標				
グルーミングを2時間以内に終わらせる 部分カットができるようになる トリミングライセンス試験2級を目指す				
回	テーマ	内容		
1~45	基礎	グルーミング犬種を中心に実習 スピードアップを心がけるよう指導 一人でもどのような犬でも作業ができるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASICIV		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	吉本, 山地, 森, 三村, 竹川 (実務経験あり)
授業の概要				
グルーミングの基礎からさらにスピードをアップさせる				
<p>【実務経験】</p> <p>吉本真紀 トリマーとして26年 森 純子 トリマーとして13年 三村梨恵 トリマーとして12年 竹川陽貴 トリマーとして11年 山地香里 トリマーとして2年</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし 学生のロールモデルとなる</p>				
授業終了時の到達目標				
グルーミングを2時間以内に終わらせる 部分カットができるようになる トリミングライセンス試験2級を目指す				
回	テーマ	内容		
1~39	基礎	一人でどのような犬でもグルーミングができるようになる		
40	モデル犬チェック	ペットビジネススクール協会トリマー2級対策 グルーミング作業が2時間で完璧に終了する。		
41~45	応用	モデル犬チェックでの課題と問題点の改善 グルーミング作業の最終確認		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシ ザーの練習や美容 学の復習をしてお く

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅲ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保護衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。 【実務経験】 齋藤小百合: 動物看護師として7年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士一級の取得				
回	テーマ	内容		
1~2	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第1章 日本における動物愛護運動の起こり 第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動		
3~4	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動 第3章 動物愛護の今後の展望		
5~6	第2編 動物関係法令	第1章 動物と法律		
7~8	第2編 動物関係法令	第2章 飼養動物と関係法令		
9~10	第2編 動物関係法令	第3章 野生動物と関係法令		
11~12	第2編 動物関係法令	第3章 野生動物と関係法令		
13~14	第3編 動物の行動と社会	第1章 行動とは何か、社会とは何か		
15~16	第3編 動物の行動と社会	第6章 犬と猫の行動と社会		
17~18	第3編 動物の行動と社会	第7章 問題行動とその予防と対処		
19~20	第4編 犬と猫の栄養学	第1章 栄養素とその機能		
21~22	第4編 犬と猫の栄養学	第2章 犬と猫が必要とするエネルギーと栄養素		
23~24	第4編 犬と猫の栄養学	第3章 ライフステージと栄養		
25~26	第4編 犬と猫の栄養学	第4章 犬と猫のペットフードの進展		
27~28	確認テスト①	過去問題を解いて解説する		
29~30	確認テスト②	過去問題を解いて解説する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士一級第1巻		期末試験	100.0%	【事前学習】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅳ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に習得・普及する指導員を養成する 【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として7年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士1級の取得				
回	テーマ	内 容		
1~2	第Ⅴ編 動物の遺伝と繁殖生理	第1章 動物の遺伝と繁殖生理 第2章 動物の繁殖生理		
3~7	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第1章 動物の疾病とその予防		
8~10	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第2章 犬の疾病とその予防		
11~12	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第3章 猫の疾病とその予防		
13~14	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第4章 その他の哺乳類の疾病とその予防		
15	第Ⅶ編 動物の飼養管理と公衆衛生	第1章 人と動物の共生に必要な公衆衛生の課題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士1級教本(上・下)		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床基礎講座Ⅲ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

授業の概要

動物の生命維持のしくみと解剖学、および生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。動物看護において、動物がどのような状況にあり、どのような看護が必要かを知るために病変の特徴や分類を病理学専門用語を用いて学ぶ。また、獣医師が処方した薬剤の作用と副作用などについての知識を有することによってカルテに記載された内容を正しく理解できる。チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習し、治療方針の理解度を高めることによって疾病別の動物看護を実践できるように知識を身につける。形態機能学、病理学、薬理学、疾病看護学を包括的に学ぶことによって、臨床の現場での確かな看護、獣医師のサポートができることを目指す。

【実務経験】 荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。
これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

体内に含まれる水分のコントロールに関与する泌尿器系について説明できる。
繁殖に関わる発情の仕組みと動物ごとの繁殖器官について説明できる。
内臓機能の調節に関わる内分泌器系について説明できる。
若齢・老齢による疾病とその看護について説明できる。

回	テーマ	内容
1	体液の調節と尿の生成①	腎臓の構造と機能
2	体液の調節と尿の生成②	糸球体の構造と機能
3	体液の調節と尿の生成③	尿細管の構造と機能
4	体液の調節と尿の生成④	傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活性物質について
5	体液の調節と尿の生成⑤	排尿路の構造
6	体液の調節と尿の生成⑥	尿の貯蔵と排尿
7	体液の調節と尿の生成⑦	酸塩基平衡、電解質の異常
8	体液の調節と尿の生成⑧	泌尿器の疾患①
9	体液の調節と尿の生成⑨	泌尿器の疾患②
10	性と生殖①	生殖器の基本構造① 雄の生殖器
11	性と生殖②	生殖器の基本構造② 雌の生殖器
12	性と生殖③	生殖機能調節に関わるホルモン
13	性と生殖④	発情徴候と発情周期
14	性と生殖⑤	受精と妊娠
15	性と生殖⑥	分娩
16	性と生殖⑦	遺伝子と器官発生
17	性と生殖⑧	フェレット、ウサギ、げっ歯類、鳥類の繁殖過程
18	性と生殖⑨	生殖器系疾患①
19	性と生殖⑩	生殖器系疾患②
20	性と生殖⑪	生殖器系疾患③

回	テ ー マ	内 容		
21	性と生殖⑫	生殖器系疾患④		
22	性と生殖⑬	生殖器系疾患⑤		
23	内臓機能の調節①	内分泌について		
24	内臓機能の調節②	ホルモンの生理作用について		
25	内臓機能の調節③	全身の内分泌腺について		
26	内臓機能の調節④	視床下部一下垂体系について		
27	内臓機能の調節⑤	甲状腺と副甲状腺について		
28	内臓機能の調節⑥	膵臓について		
29	内臓機能の調節⑦	副腎について		
30	内臓機能の調節⑧	性腺について		
31	内臓機能の調節⑨	その他の内分泌腺（消化管・腎臓・胎盤）		
32	内臓機能の調節⑩	内分泌系疾患①		
33	内臓機能の調節⑪	内分泌系疾患②		
34	内臓機能の調節⑫	内分泌系疾患③		
35	エキゾチック動物の解剖と生理①	鳥類の解剖と生理		
36	エキゾチック動物の解剖と生理②	フェレットの解剖と生理		
37	エキゾチック動物の解剖と生理③	ウサギの解剖と生理		
38	エキゾチック動物の解剖と生理④	爬虫類の解剖と生理①		
39	エキゾチック動物の解剖と生理⑤	爬虫類の解剖と生理②		
40	エキゾチック動物の解剖と生理⑥	魚類の解剖と生理		
41	まとめと復習 泌尿器系	泌尿器系の解剖と生理		
42	まとめと復習 生殖器系	生殖器系の解剖と生理		
43	まとめと復習 内分泌系	内分泌系の解剖と生理		
44	まとめと復習 エキゾチック動物	エキゾチック動物の解剖と生理		
45	前期末試験	前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能（動物形態機能学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト3「動物の疾病と予防および回復（動物病理学・動物薬理学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト6「動物看護の実践（動物疾病看護学）」（ファームプレス） 新・犬と猫のからだのしくみ（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床基礎講座Ⅳ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

授業の概要

動物の生命維持のしくみと解剖学、および生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解できるようにする。動物看護において、動物がどのような状況にあり、どのような看護が必要かを知るために病変の特徴や分類を病理学専門用語を用いて学ぶ。また、獣医師が処方した薬剤の作用と副作用などについての知識を有することによってカルテに記載された内容を正しく理解できる。チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習し、治療方針の理解度を高めることによって疾病別の動物看護を実践できるように知識を身につける。形態機能学、病理学、薬理学、疾病看護学を包括的に学ぶことによって、臨床の現場での確かな看護、獣医師のサポートができることを目指す。

【実務経験】 荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。
これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

生体の防御機構について説明ができる
動物病理学の各項目について説明ができる
動物薬理学の各項目について説明ができる

回	テーマ	内容
1	生体の防衛機構①	外皮について
2	生体の防衛機構②	毛について 爪について
3	生体の防衛機構③	免疫系の基本的な仕組みと働き
4	生体の防衛機構④	体温調節
5	動物病理学①	細胞や組織に生じる変化
6	動物病理学②	増殖と修復
7	動物病理学③	循環障害
8	動物病理学④	炎症
9	動物病理学⑤	免疫異常
10	動物病理学⑥	腫瘍
11	動物病理学⑦	先天異常
12	動物薬理学①	薬物の取り扱い
13	動物薬理学②	動物薬理学の基礎
14	動物薬理学③	神経系に作用する薬物
15	動物薬理学④	呼吸器系に作用する薬物
16	動物薬理学⑤	循環器・泌尿器に作用する薬物
17	動物薬理学⑥	消化器に作用する薬物
18	動物薬理学⑦	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物①
19	動物薬理学⑧	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物②

回	テ ー マ	内 容		
20	動物薬理学⑨	血液・免疫系に作用する薬物		
21	動物薬理学⑩	化学療法薬①		
22	動物薬理学⑪	化学療法薬②		
23	動物薬理学⑫	薬用量の計算		
24	まとめと確認①	生体の防御機構①		
25	まとめと確認②	生体の防御機構②		
26	まとめと確認③	動物病理学①		
27	まとめと確認④	動物病理学②		
28	まとめと確認⑤	動物薬理学①		
29	まとめと確認⑥	動物薬理学②		
30	後期末試験	後期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能（動物形態機能学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト3「動物の疾病と予防および回復（動物病理学・動物薬理学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト6「動物看護の実践（動物疾病看護学）」（ファームプレス） 新・犬と猫のからだのしくみ（インターズー）			【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅱ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

授業の概要

伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫について、それらの特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。「動物感染症学-2」では、動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を修得する。主にイヌネコに感染する内部寄生虫、外部寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法、予防法を学び、飼主に寄生虫感染予防の大切さを伝えられるようにする。

【実務経験】 荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。
これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼いに感染予防の大切さを伝えられるようにする。

回	テーマ	内容
1	寄生虫とは	寄生虫とは 寄生虫の分類
2	内部寄生虫の分類①	蠕虫類(線虫類)
3	内部寄生虫の分類②	蠕虫類(条虫類)
4	内部寄生虫の分類③	蠕虫類(吸虫類)
5	内部寄生虫の分類④	原虫類
6	外部寄生虫の分類①	昆虫類
7	外部寄生虫の分類②	ダニ類
8	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫①	イヌ回虫
9	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫②	イヌ鉤虫
10	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫③	イヌ鞭虫、糞線虫
11	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫④	イソスポラ、クリプトスポリジウム、ジアルジア
12	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫⑤	ネコ回虫、ネコ鉤虫、ネコ糞線虫
13	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫⑥	壺型吸虫
14	臨床症状がみられる内部寄生虫 消化器症状を示す内部寄生虫⑦	トキソプラズマ
15	臨床症状がみられる内部寄生虫 全身症状を示す内部寄生虫①	イヌ糸状虫、肺吸虫

回	テーマ	内 容		
16	臨床症状がみられる内部寄生虫 全身症状を示す内部寄生虫②	バベシア、ヘモプラズマ		
17	臨床症状がみられる内部寄生虫 全身症状を示す内部寄生虫③	ヘパトゾーン、エールリヒア		
18	ほとんど無症状の内部寄生虫①	瓜実条虫		
19	ほとんど無症状の内部寄生虫②	エキノコックス		
20	ほとんど無症状の内部寄生虫③	マンソン裂頭条虫、ネコ条虫		
21	皮膚障害を伴う外部寄生虫 昆虫類①	イヌノミ、ネコノミ		
22	皮膚障害を伴う外部寄生虫 昆虫類②	イヌジラミ、イヌハジラミ、ネコハジラミ		
23	皮膚障害を伴う外部寄生虫 ダニ類①	イヌヒゼンダニ		
24	皮膚障害を伴う外部寄生虫 ダニ類②	ミミヒゼンダニ		
25	皮膚障害を伴う外部寄生虫 ダニ類③	イヌニキビダニ		
26	皮膚障害を伴う外部寄生虫 ダニ類④	イヌツメダニ		
27	皮膚障害を伴う外部寄生虫 ダニ類⑤	ショウセンコウヒゼンダニ、ネコツメダニ		
28	吸血性の昆虫類	吸血性の昆虫類		
29	吸血性のダニ類	マダニ		
30	まとめ	内部寄生虫のグループ分け、外部寄生虫のグループ分け		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3（ファームプレス）		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

授業の概要

公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身に付ける。動物の看護に関係する衛生学は、個々の動物の生命と健康に障害を及ぼす各種要因についての動物衛生と社会一般への疾病の予防を目的とする公衆衛生がある。公衆衛生とは関連するさまざまな環境要因と、ヒトの健康に関わる疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な科目である。ヒトと動物の共生を対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。動物看護師として衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。

【実務経験】 荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。
 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

公衆衛生の定義と目的が説明できる。
 ウイルスによる主な人獣共通感染症を説明できる。
 細菌による主な人獣共通感染症を説明できる。
 真菌による主な人獣共通感染症を説明できる。
 寄生虫による主な人獣共通感染症を説明を説明できる。

回	テーマ	内容
1	公衆衛生学概論①	動物看護と公衆衛生の関係性を考え、公衆衛生の目的と活動を理解する。
2	公衆衛生学概論②	動物看護公衆衛生の活動領域について学ぶ。
3	人獣共通感染症①	人獣共通感染症の定義とその現状を知る。 新興感染症と再興感染症の発生要因を知る。
4	人獣共通感染症②	人獣共通感染症の動物からヒトへの感染様式と予防対策について学ぶ。
5	人獣共通感染症③	イヌ、ネコ、サル類、げっ歯類の主な人獣共通感染症にはどのようなものがあるかを学ぶ。
6	人獣共通感染症④	ウイルスによる主な人獣共通感染症に入る前にウイルスの性状について振り返る。
7	人獣共通感染症⑤	ウイルスによる主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①狂犬病②高病原性鳥インフルエンザ
8	人獣共通感染症⑥	ウイルスによる主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①日本脳炎②ニューカッスル病③ウエストナイル熱
9	人獣共通感染症⑦	ウイルスによる主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①エボラ出血熱②Bウイルス病③ニパウイルス感染症
10	人獣共通感染症⑧	ウイルスとプリオンによる主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①重症急性呼吸器症候群(SARS)②牛海面状脳症
11	人獣共通感染症⑨	細菌による主な人獣共通感染症に入る前に細菌の性状について振り返る。
12	人獣共通感染症⑩	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①レプトスピラ症②パスツレラ症
13	人獣共通感染症⑪	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①カンピロバクター症②ブルセラ症

回	テーマ	内容		
14	人獣共通感染症⑫	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①サルモネラ症②腸管出血性大腸菌感染症		
15	人獣共通感染症⑬	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①炭疽②野兔病③結核		
16	人獣共通感染症⑭	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①破傷風②細菌性赤痢③エルシニア感染症（ペスト）		
17	人獣共通感染症⑮	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①猫ひっかき病②G熱		
18	人獣共通感染症⑯	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①オウム病②ツツガムシ病③ライム病		
19	人獣共通感染症⑰	真菌による主な人獣共通感染症に入る前に真菌の性状について振り返る。		
20	人獣共通感染症⑱	細菌による主な人獣共通感染症の概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①皮膚糸状菌症②クリプトコッカス症		
21	人獣共通感染症⑲	寄生虫による主な人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①原虫について②トキソプラズマ症		
22	人獣共通感染症⑳	寄生虫による主な人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①ジアルジア症②クリプトスポリジウム症③アメーバ赤痢		
23	人獣共通感染症?	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 ①線虫によるもの②条虫によるもの		
24	人獣共通感染症?	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状・治療・予防方法を学ぶ。 寄生性節足動物によるもの		
25	滅菌と消毒①	滅菌と消毒の違いについて理解し、物理的滅菌方法について学ぶ。		
26	滅菌と消毒②	化学的滅菌法について学ぶ。 その後、消毒物理的消毒法について学ぶ。		
27	滅菌と消毒③	化学的消毒方法		
28	動物防疫学①	人獣共通感染症の対策について学ぶ。 伴侶動物と共生するうえでの人獣共通感染症の対策について学ぶ。		
29	動物防疫学②	院内感染とはなにか、またその対策について学ぶ。		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト2「動物のからだの構造と機能（動物形態機能学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト3「動物の疾病と予防および回復（動物病理学・動物薬理学）」（ファームプレス） 動物看護コアテキスト6「動物看護の実践（動物疾病看護学）」（ファームプレス） 新・犬と猫のからだのしくみ（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論Ⅱ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)

授業の概要

小動物診療はますます高度化し、動物病院においては獣医師のほかに「診察の補助行為をはじめとする種々の動物医療関連業務」に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。単に獣医師の補助的サポートをするだけでなく、獣医師が為せる職域ではない「動物看護学」を学び、職域として確立する。動物看護師は、獣医師の業務である診断・処方・手術・予後の判定以外の多岐にわたる業務をこなさなければならない。「動物看護学概論」では、動物看護技術を身に付ける以前に必要な要素について学び、動物看護師を目指す目的に向かってステップアップする。

【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として12年の実務経験。

これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開

授業終了時の到達目標

動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。

回	テーマ	内容
1～2	動物看護学概論①	動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を学ぶ
3～4	動物看護学概論②	動物看護学を学ぶ上で、業務を考える
5～6	動物看護学概論③	動物の看護学を学ぶために人医療の看護師の先人を知る
7～8	動物看護学概論④	動物看護学が必要な場面とはどんな場面なのか、そして動物看護師が活躍できるのはどんな時なのかを学ぶ
9～10	動物看護学概論⑤	動物看護を実行する上で必要な動物看護師の視点について学べる
11～12	動物看護学概論⑥	診療場面での動物看護師の役割について知る
13～14	動物看護学概論⑦	動物看護を実行する上で必要な動物看護師の視点について知ったうえで、3回分の確認テストを実施
15～16	動物の看護過程展開①	動物看護を実践するために必要な動物の看護過程について学ぶ意味を考える
17～18	動物の看護過程展開2?	動物の看護過程とは何か?を知る
19～20	動物の看護過程展開③	動物の看護過程：展開を学ぶ
21～22	動物の看護過程展開④	動物の看護過程：展開を学ぶ
23～24	動物の看護過程展開⑤	動物の看護過程：展開を学ぶ
25～26	動物の看護過程展開⑥	動物の看護過程：展開を学ぶ
27～28	動物の看護過程展開⑦	動物の看護過程：展開を学ぶ
29～30	動物の看護過程展開⑧	動物の看護過程：展開を学ぶ

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書(緑書房)、基礎動物看護学(インターズー)			【事前学習】前回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療関連法規		動物衛生看護学科動物 看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

授業の概要

獣医療における動物看護師の職域や身分などを明示した法令はない。獣医師とのチーム獣医療を構成する動物看護師は、動物看護師が行う獣医医療関連の業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し、獣医療現場及び公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として遵守の精神を養う必要がある。また、社会人として知っておくべき法規について学習する。2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護師の倫理綱領2009」と「動物看護師の業務指針」(2012)についても学ぶ。

【実務経験】荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。

これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

獣医療に関わる法律について理解し、動物と人が共存する社会の安全を守るために貢献する動物看護師になる。

回	テーマ	内容
1	法規の概念	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
2	動物看護師を取り巻く獣医療関連 法規のアウトラインについて	動物看護師を取り巻く法律の概要を知る
3	動物看護師の職域に関連する法規 ①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
4	動物看護師の職域に関連する法規 ②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
5	動物愛護及び管理に関する法律①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
6	動物愛護及び管理に関する法律②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
7	身体障害者補助犬法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
8	狂犬病予防法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける
9	家畜衛生行政関連法規	動物全般の伝染性疾病について理解する
10	公衆衛生行政関連法規	法の理念と目的を理解し公衆衛生に寄与する
11	薬物関連法規	医薬品、医薬部外品等の有効性及び安全性の確保について学ぶ
12	環境行政関連法規	産業廃棄物処理法を理解する
13	野生動物にかかわる関連法令	法の理念と目的を学び、野生鳥獣の保護と適性狩猟について理解する
14	社会人として知っておく必要のなる法律	動物看護師が知っておく必要のある一般法律について理解する
15	動物看護師のための法律	国家資格化と動物看護師のためのあらたな法律の整備について

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書(緑書房)	期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
各種動物学Ⅱ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)

授業の概要

産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業など社会の関りについて学ぶ。

実験動物の歴史や品種、飼養管理法、動物実験との関りについて学ぶ。

日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物について学ぶ。

【実務経験】荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。

これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

産業動物の家畜化の過程、品種、体と食性の特徴、飼養管理をウシ、ブタ、ニワトリ、ウマ、ヒツジ、ヤギについてそれぞれ説明できる

動物実験、3R、主な実験動物について説明できる

野生動物について定義、保護、関連法規について説明できる。

展示動物について説明できる。

回	テーマ	内容
1	産業動物概論	①産業動物の定義と特徴②飼養頭数③飼料自給率 ④飼養・出荷にあたっての法的規制
2	ウシ①	①家畜化の過程②乳用牛の品種③肉用牛の品種
3	ウシ②	ウシの体と食性と特徴
4	ウシ③	ウシの飼養管理
5	ブタ①	①家畜化の過程②ブタの品種
6	ブタ②	ブタの体と食性と特徴
7	ブタ③	ブタの飼養管理
8	ニワトリ①	①家畜化の過程②ニワトリの品種
9	ニワトリ②	ニワトリの体と食性と特徴
10	ニワトリ③	ニワトリの飼養管理
11	ウマ①	①家畜化の目的②ウマの品種
12	ウマ②	ウマの体と食性と特徴
13	ウマ③	ウマの飼養管理
14	ヒツジ、ヤギ①	①家畜化の過程②ヒツジ、ヤギの品種
15	ヒツジ、ヤギ②	ヒツジ、ヤギの体と食性と特徴

回	テーマ	内 容		
16	ヒツジ、ヤギ③	ヒツジ、ヤギの飼養管理		
17	実験動物学①	動物実験の理解と3R		
18	実験動物学②	主な実験動物とその利用		
19	実験動物学③	①遺伝的統御と微生物学的統御②カニクイザル、ラット、マウスの生理と行動		
20	実験動物学④	①実験動物の飼養管理②動物の保定の仕方③個体の管理と記録④管理者の教育と安全		
21	野生動物学①	①野生動物の定義②日本の野生動物③野生動物の現状④野生動物と環境保全		
22	野生動物学②	①野生動物の保護に関する法律②世界の取り決め		
23	野生動物学③	①負傷した野生動物の保護②野生動物の飼養管理③ペットとして飼養される野生動物		
24	展示動物①	①展示動物とは②動物園動物		
25	展示動物②	①触れ合い動物②販売動物③撮影動物		
26	まとめ①産業動物	①ウシ②ブタ		
27	まとめ②産業動物	①ニワトリ②ウマ③ヒツジ、ヤギ		
28	まとめ③実験動物	実験動物のまとめ		
29	まとめ④野生動物・展示動物	野生動物のまとめ 展示動物のまとめ		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4「動物の行動と健康管理」		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
各種動物学Ⅲ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉(実務経験あり)
授業の概要				
<p>伴侶動物である犬の歴史や品種、飼養管理法、日々の関りについて学ぶ。 エキゾチック動物の基本事項、飼育管理、保定、おもな疾患について学ぶ。 アクアリウムの魚類について学ぶ。 【実務経験】荒岡 杉：獣医師として36年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>伴侶動物となる犬、猫について説明できる。 エキゾチックアニマルについて説明できる。 アクアリウムの魚類について説明できる。</p>				
回	テーマ	内容		
1	伴侶動物学①犬	①歴史 ②品種		
2	伴侶動物学②犬	①飼育管理 ②日々の関り		
3	伴侶動物学③猫	①歴史 ②品種		
4	伴侶動物学④猫	①飼育管理 ②日々の関り		
5	エキゾチックアニマル①	ウサギ		
6	エキゾチックアニマル②	ウサギ		
7	エキゾチックアニマル③	フェレット、		
8	エキゾチックアニマル④	フェレット		
9	エキゾチックアニマル⑤	モルモット		
10	エキゾチックアニマル⑥	ハムスター		
11	エキゾチックアニマル⑦	小鳥(セキセイインコ・ブンチョウ)		
12	エキゾチックアニマル⑧	その他のエキゾチックアニマル		
13	アクアリウム①	アクアリウムの概要		
14	アクアリウム②	アクアリウムの魚類		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4「動物の行動と健康管理」		期末試験	100.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学Ⅰ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	小松 志帆(実務経験あり)
授業の概要				
<p>臨床検査における動物看護師の役割を理解し、検査の目的を解剖学的・生理学的知識とともに身につける。基礎的な知識と技術を中心に、動物病院での臨床的応用も理解できるようにする。解剖学、生理学、看護学と臨床検査の関連性を理解し、動物病院での応用臨床検査にまつわる知識を修得し、基礎的臨床検査である検体検査および生体検査に関して、その目的と意義を理解し、動物臨床検査学実習にて習得する、実際の手技に反映できる技術を備えるようにする。検体検査においては、尿検査・糞便検査・血液検査・眼科検査・耳の検査・皮膚科検査・その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値を理解する。また、生体検査においては、基礎的身体一般検査・X線検査・心電図検査と血圧測定・超音波検査・内視鏡検査・神経学的検査・CT・MRIなどの特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値を学習する</p> <p>【実務経験】小松志帆：獣医師として5年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
回	テーマ	内容		
1～2	動物臨床検査学概論	臨床検査の目的と動物看護師の役割を理解する		
3～4	臨床検査の種類	動物看護師が関わる臨床検査の種類		
5～6	主要な検査機器	検体検査・生体検査に使用する主要な検査機器について知る		
7～8	尿検査	泌尿器系の働きと臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ。		
9～10	糞便検査	消化器系のはたらきと臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ。		
11～12	血液検査	循環器系のはたらきと臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ。		
13～14	血液検査	血液塗抹標本の作製・染色法・観察法について学ぶ		
15	総まとめ	総まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書(緑書房)		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学Ⅱ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	小松 志帆(実務経験あり)
授業の概要				
<p>臨床検査における動物看護師の役割を理解し、検査の目的を解剖学的・生理学的知識とともに身につける。基礎的な知識と技術を中心に、動物病院での臨床的応用も理解できるようにする。解剖学、生理学、看護学と臨床検査の関連性を理解し、動物病院での応用臨床検査にまつわる知識を修得し、基礎的臨床検査である検体検査および生体検査に関して、その目的と意義を理解し、動物臨床検査学実習にて習得する、実際の手技に反映できる技術を備えるようにする。検体検査においては、尿検査・糞便検査・血液検査・眼科検査・耳の検査・皮膚科検査・その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値を理解する。また、生体検査においては、基礎的身体一般検査・X線検査・心電図検査と血圧測定・超音波検査・内視鏡検査・神経学的検査・CT・MRIなどの特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値を学習する</p> <p>【実務経験】小松志帆：獣医師として5年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
回	テーマ	内容		
1～2	眼科検査	眼の解剖・生理学と臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ。		
3～4	耳の検査	耳の解剖・生理学と臨床検査の関連性。耳の検査が必要な生体の状態について学ぶ。		
5～6	皮膚科検査	皮膚・被毛の構造と臨床検査の関連性。動物看護師の役割について。皮膚検査が必要な生体の状態について学ぶ。		
7～8	レントゲン検査 心電図検査	レントゲン検査の意義と基礎的知識について学ぶ 心電図検査の意義と基礎的知識について学ぶ		
9～10	超音波検査 内視鏡検査	超音波検査の意義と基礎的知識について学ぶ 内視鏡検査と基礎的知識について学ぶ		
11～12	神経学的検査	神経学的検査の意義と基礎的知識について学ぶ		
13～14	CT・MRI検査 細胞診検査	CT・MRI検査の意義と基礎的知識について学ぶ 細胞診検査の意義と基礎的知識について学ぶ		
15	微生物学関連検査	微生物学検査の意義と基礎的知識について学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書(緑書房)		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
<p>知識や技術などの目に見えないものの価値はその提供者からの印象を大きく受ける。動物看護師は、その提供者の一人であり、病院の印象を決める顔ともなる。「院内コミュニケーション1」では、ホスピタリティ精神を理解し、飼主からの信頼を得るために、身だしなみの重要性を理解し、言葉遣いと話し方・表情・立ち居振る舞いの接客時の基本を身につけコミュニケーション能力をあげるための基本的な接遇トレーニングを行う。また、看護動物の安全・衛生に配慮した対応ができるよう受付時のカウンターを挟んだ高頻度業務を実技で展開し、グループ運営、段取り、プレゼンテーションの意識を高め、スタッフコミュニケーションを想定した能力を養う</p> <p>【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として12年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
病院内での立ち居振る舞いを学び、スタッフおよび飼い主に信頼を得ることができる。				
回	テーマ	内 容		
1	接遇とは(ホスピタリティとは)	信頼を得る要素を理解する		
2	社会人コミュニケーション能力の基礎	社会人としての振る舞い		
3	飼い主のお迎え①	高頻度業務の実技、動物の安全に配慮した対応		
4	飼い主のお迎え②	高頻度業務の実技、動物の安全に配慮した対応		
5	飼い主のお迎え③	高頻度業務の実技、動物の安全に配慮した対応		
6	飼い主のお迎え④	高頻度業務の実技、動物の安全に配慮した対応		
7	実技試験前のグループワーク①	スタッフコミュニケーションにつなげるトレーニング		
8	実技試験前のグループワーク②	スタッフコミュニケーションにつなげるトレーニング		
9	実技試験前のグループワーク③	スタッフコミュニケーションにつなげるトレーニング		
10	実技試験	プレゼンテーション意識を向上する		
11	実技試験	プレゼンテーション意識を向上する		
12	実技試験の振り返り	接客時の基本を客観的に評価する		
13	診察室への案内	信頼を得る要素を理解する。動物の安全に配慮した対応		
14	薬の説明①	高頻度業務の実技、動物の安全に配慮した対応		
15	薬の説明②	高頻度業務の実技、動物の安全に配慮した対応		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ホスピタリティを伝える動物病院の接遇(インターズー)		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅲ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤, 小松(実務経験あり)

授業の概要

1年時学習した実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。幼齢動物・高齢動物にみられる特有の状態や疾患を理解し、全身評価ができるようにする。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身に付け、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるよう、サポートできるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。

【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として12年の実務経験。

小松志帆：獣医師として5年の実務経験。

これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

回	テーマ	内容
1	超音波 概論	超音波の仕組み・機器の操作法を学び、適切な保定ができるようになる
2	超音波 保定	必要な画像のためのポジショニングおよび保定ができるようになる
3	各器官系評価 概論	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。
4	各器官系評価 皮膚・被毛	外皮系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
5	各器官系評価 眼	眼の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
6	各器官系評価 耳	耳の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
7	各器官系評価 口腔・歯科	口腔・歯科の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
8	各器官系評価 筋骨格系	筋骨格系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
9	各器官系評価 末梢リンパ系	末梢リンパ系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
10	各器官系評価 神経系	神経系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
11	各器官系評価 呼吸器系	呼吸器系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
12	各器官系評価 心血管系	心血管系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
13	各器官系評価 消化器系	消化器系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ
14	各器官系評価 泌尿・生殖系	泌尿・生殖器系の身体検査項目・評価・正常と異常について学ぶ

回	テーマ	内容		
15	バイタルチェック 概論・体温	測定部位に応じた体温計を測定できる。正常値を知る		
16	バイタルチェック 体温・手技	イヌ・ネコの体温を測定し、記録・報告できるようになる		
17	バイタルチェック 概論・脈拍	脈拍の測定部位を知る。正常値を知る		
18	バイタルチェック 脈拍・手技	犬猫の脈拍を測定し、記録・報告できるようになる		
19	バイタルチェック 概論・呼吸数と呼吸パターン	呼吸数の測定部位を知る。正常値を知る。異常な呼吸パターンを学ぶ。		
20	バイタルチェック 呼吸数と呼吸パターン・手技	犬猫の呼吸数・呼吸状態を把握し、記録・報告できるようになる		
21	バイタルチェック 体重測定	犬猫の体重測定ができるようになる		
22	バイタルチェック PFA	股動脈圧（PFA）の測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
23	バイタルチェック GRT	可視粘膜の観察、毛細血管再充満時間（GRT）の測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
24	血圧測定	血圧測定の意味と測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
25	尿生産量チェック	尿生産の仕組みを学び、尿生産の検査方法を学ぶ		
26	動脈血酸素飽和度測定	酸素飽和度の意味と測定部位・測定法・評価法を学ぶ		
27	子犬と子猫の全身評価 概論・手技	子犬と子猫の全身評価法を学び、正常・異常の判断ができるようになる		
28	老齢動物の全身評価 概論・手技	老齢動物の全身評価法を学び、正常・異常の判断が出来るようになる。また、手技を身に付けて記録が出来る		
29	聴診法 概論	聴診法で得る情報から、正常・異常の判断ができるようになる。聴診器各部の名称と種類を知り、適切な使用法・管理ができる		
30	聴診法 名称・種類・使用法・手技・評価	聴診器各部の名称・種類を知り、正しい使用法を学ぶ。また、聴診の手技と正常・異常の評価について学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書第1巻（緑書房）、動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅳ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤, 小松(実務経験あり)

授業の概要

これまでに学習した実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。幼齢動物・高齢動物にみられる特有の状態や疾患を理解し、全身評価ができるようにする。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身に付け、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるよう、サポートできるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。

【実務経験】 齋藤小百合：動物看護師として12年の実務経験。

小松志帆：獣医師として5年の実務経験。

これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

回	テーマ	内容
1	調剤 概論	処方箋に従った薬剤の準備および適切な薬剤の取り扱いを身に付ける
2	調剤 医薬品 概論	医薬品の定義を知り、情報の必要性、薬物動態について理解する
3	調剤 医薬品 取り扱い・廃棄	医薬品の正しい取り扱い・管理・廃棄について学ぶ
4	調剤 処方箋・用語	処方箋と調剤用語を理解出来る
5	調剤 種類・形状・標記	医薬品の種類を知り、薬剤の形状・標記を理解出来る
6	調剤 薬用量計算	正確に薬用量の計算ができる
7	調剤 手技・分包	各種薬剤の調剤法を学ぶ。分包の手技を学ぶ
8	調剤 薬袋・説明	薬袋の記入および処方された薬の内容、記載事項の説明ができる
9	調剤 投薬法(内服薬・外用薬)	内服薬と外用薬の投薬法の手技を身に付ける。飼い主が家庭で実践できるポイントの説明ができる
10	創傷管理 概論・手技	創傷の分類と管理について学ぶ。創傷管理に使用する器具・保護材・手順について学ぶ
11	包帯法 概論・手技	創傷管理における包帯法について学ぶ。包帯法の手技を学ぶ
12	衛生管理・入院管理 概論	汚染を防ぐ入院動物の扱い方および入院舎の清掃ができる
13	衛生管理・入院管理①	滅菌、消毒、殺菌
14	衛生管理・入院管理②	感染、医療廃棄物処理
15	衛生管理・入院管理③	院内清掃、犬舎・猫舎・入院舎の清掃と衛生管理

回	テーマ	内容		
16	シリンジ・注射針 概論	シリンジの正しい扱いを身に付け、注射法の目的と違いを理解する		
17	シリンジ・注射針 種類	注射に用いるシリンジ・針の種類を知り、用途に応じた選択ができる		
18	シリンジ・注射針 手技	無菌的操作および正しい接続ができる		
19	アンプル・バイアル 概論	アンプル・バイアルの標記を読み取り、管理ができる		
20	アンプル・バイアル 手技①	アンプルを安全に取り扱い、確実に注射の準備ができる		
21	アンプル・バイアル 手技②	バイアルを衛生的に取り扱い、確実に注射の準備ができる		
22	輸液 概論	輸液の適切な接続および操作法を身に付ける		
23	輸液 留置・準備	血管確保のための血液留置における準備ができる		
24	輸液 留置・手技	手順を学び、獣医師のサポートができるようになる。留置後の衛生管理と看護動物の状態観察ができるようになる。		
25	輸液 輸液剤の種類	輸液剤の種類を知り、目的と用途を理解する		
26	輸液 準備	自動点滴装置の構造を理解し、輸液に必要な備品の準備ができる		
27	輸液 輸液手技	輸液ラインの接続および、設定ができるようになる。看護動物へのセットができる。		
28	輸液 皮下点滴準備	皮下点滴の目的と部位を理解し、必要な準備ができる		
29	輸液 皮下点滴手技	翼状針・注射針の扱い・設定・看護動物へのセット		
30	総合テスト	動物看護実習に関する理解度を確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書第1巻（緑書房）、動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外科動物看護学実習 I		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大平 一喜(実務経験あり)

授業の概要

周術期の術前・術中・術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。

看護動物が安全に麻酔(手術)を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また麻酔が円滑に行われるためには、日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する

【実務経験】大平一喜：獣医師として実務経験40年。これまでの臨床経験や場면을教材とし指導する

授業終了時の到達目標

授業概要に含まれる

回	テーマ	内容
1	手術補助	外科手術の流れ
2	器具・機材の準備①	手術器具
3	器具・機材の準備②	縫合材料(糸と針)
4	器具・機材の準備③	ドレープ類・ガウンの意義
5	器具・機材の準備④	電気メス
6	器具・機材の準備⑤	器具の滅菌・管理
7	避妊・去勢手術	外科手術を補助するための必要な基礎知識
8	麻酔前評価	術前の患者動物の評価
9	まとめ①	外科看護技術の修得
10	術前の準備	手術室の準備(日常から当日まで)
11	術者の準備①	手指の消毒法
12	術者の準備②	ガウン・グローブ装着方法
13	動物の準備①	術野の準備
14	動物の準備②	ドレープのかけ方
15	血管確保	血管確保の準備・手順

回	テーマ	内 容		
16	気道確保	気道確保の準備・手順		
17	輸液管理	輸液の準備・管理		
18	麻酔とは	麻酔の種類		
19	麻酔薬の作用	麻酔薬の作用・代謝・排泄		
20	麻酔前投与薬	麻酔前投与薬の意義		
21	鎮痛薬	鎮痛薬の意義		
22	麻酔導入	麻酔導入方法の理解		
23	吸入麻酔薬	吸入麻酔薬の意義		
24	酸素化	麻酔導入前の酸素化の意義		
25	麻酔器の構造と管理	麻酔器の仕組みの理解		
26	モニター機器の準備と管理①	ECGモニターの仕組みを理解		
27	モニター機器の準備と管理②	血圧モニターの仕組みを理解		
28	まとめ②	外科看護技術の修得		
29	麻酔のモニター①	気道のモニター		
30	麻酔のモニター②	換気のモニター		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー） 周術期の動物看護パーフェクトナビ（インターズー） 動物看護師のための麻酔超入門（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外科動物看護学実習Ⅱ		動物衛生看護学科動物看護師専攻/2年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大平 一喜(実務経験あり)

授業の概要

周術期の術前、術中、術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。

看護動物が安全に麻酔(手術)を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する

【実務経験】大平一喜：獣医師として40年の実務経験。これまでの臨床経験や場면을教材として指導する

授業終了時の到達目標

授業概要に含まれる

回	テーマ	内容
1	麻酔前評価	術前の看護動物の評価
2	麻酔維持	モニタリングの目的
3	動物のモニター①	五感を使ったモニター方法①
4	動物のモニター②	五感を使ったモニター方法②
5	麻酔のモニター①	換気のモニター
6	麻酔のモニター②	酸素化のモニター
7	血液循環	血液循環とは
8	血液循環のモニター①	心電図モニター
9	血液循環のモニター②	心電図モニター
10	血液循環モニター③	血圧のモニター
11	血液循環モニター④	血圧のモニター
12	その他のモニター①	体温のモニター
13	その他のモニター②	尿量モニター
14	麻酔記録	麻酔記録の意義
15	麻酔覚醒①	麻酔覚醒とは

回	テ ー マ	内 容		
16	麻酔覚醒②	抜管基準		
17	麻酔覚醒③	覚醒後の患者管理のポイント		
18	術後管理①	手術後の創傷管理①		
19	術後管理②	手術後の創傷管理②		
20	術後管理③	疼痛管理		
21	術後管理④	疼痛管理		
22	術後管理⑤	アメニティ		
23	術後管理⑥	アメニティ		
24	術後管理⑦	術後の栄養管理①		
25	術後管理⑧	術後の栄養管理②		
26	術後管理⑨	看護記録と報告		
27	まとめ①	麻酔記録・術後管理のまとめ		
28	まとめ：実技試験対策	外科看護技術の修得		
29～ 30	実技試験	外科看護技術の修得		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト6「動物看護の実践」ファームプレス 専門分野「動物外科看護技術」インターズー	期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する